



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 I N E S T 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 伊 奈 聰
(コード番号：3390 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 片 野 良 太
(TEL：03-6892-3864)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、新たな事業を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 事業開始の趣旨

当社は、将来に向けた収益力向上を目指し、既存事業の強化及び事業の選択と集中による生産性の向上に努めております。しかし、現在当社が取り組んでいる事業領域は成熟事業が主であるため、安定的な収益は期待できるものの、中長期に亘り業績を拡大するためには成長事業を柱とした事業領域の拡大が必要不可欠であると考えております。そのため、さらなる収益力向上を目指し、新たな事業を開始することといたしました。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

新たな事業は、利用者の順番待ちのニーズが見込める商業施設の店舗等をターゲットに、事業者に対して予約メディアなどのソリューションサービスを提供する事業です。本事業の開始により、既存顧客への新たなサービス提供と、新規顧客の獲得による業績の拡大を見込んでおります。

新規事業の開始に当たり、株式会社 EPARK と業務委託契約を締結し、EPARK 商材の販売権を受け、子会社である株式会社デジタルネイキッドでシステム開発を行い事業展開する予定です。

(2) 当該事業を担当する部門の概要

当該事業を行うにあたり、新たに子会社設立するよりも最小限の投下コストで、より迅速に新規事業を開始でき効率的であると判断したため、100%子会社である株式会社デジタルネイキッドで新規事業展開を行うに至りました。

(1) 名 称	株式会社デジタルネイキッド
(2) 所 在 地	東京都豊島区西池袋一丁目4番10号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森 雄一郎
(4) 事 業 内 容	各業種の経営支援ソリューション、飲食店向け電子看板事業 事業者向け集客・予約サービス事業
(5) 資 本 金	23 百万円

(3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

当該事業は、システム開発や顧客獲得費用など先行して費用が発生する一方で中長期に得られる収益が大きい事業であります。事業開始初年度である平成 29 年 3 月期から平成 30 年 3 月期までの通期連結会計年度における新規事業の営業損失は 400 百万円程度を見込んでおりますが、事業環境の変化等により変動する可能性がございます。

3. 日 程

(1) 取 締 役 会 決 議 日	平成 29 年 2 月 13 日
(2) 事 業 開 始 期 日	平成 29 年 3 月頃 (予定)

4. 相手先の概要

(1) 名 称	株式会社 EPARK			
(2) 所 在 地	東京都豊島区池袋二丁目 36 番 1 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 玉村 剛史			
(4) 事 業 内 容	飲食店・医科歯科・美容院向けの予約・送客サービスを中心としたソリューション事業、広告代理店事業			
(5) 資 本 金	90 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 4 月 13 日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社光通信 99.95%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社より当該会社へ 0.02%出資しております。		
	人 的 関 係	該当ございません。		
	取 引 関 係	当社子会社の EPARK ライフスタイルと EPARK テイクアウトとでパートナー契約を締結しております。		
	関連当事者への該当状況	該当ございません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成 26 年 7 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
純 資 産		423 百万円	▲1,798 百万円	15,130 百万円
総 資 産		3,106 百万円	6,953 百万円	20,659 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		6,911 円	▲29,362 円	123,538 円
売 上 高		3,461 百万円	7,733 百万円	5,676 百万円
営 業 利 益		▲695 百万円	▲2,181 百万円	▲1,156 百万円
経 常 利 益		▲696 百万円	▲2,198 百万円	▲1,247 百万円

当期純利益	▲561百万円	▲2,211百万円	▲1,442百万円
1株当たり当期純利益	9,174円	▲36,272円	▲11,780円
1株当たり配当金	0円	0円	0円

5. 今後の見通し

当期の通期連結業績予想へ与える影響は軽微でございます。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(平成29年2月13日公表分)及び前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成29年3月期)	3,800	▲350	▲355	▲370
前期連結実績 (平成28年3月期)	3,831	158	125	▲285